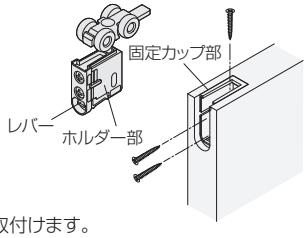
施工ガイド

■金具の取付け方法

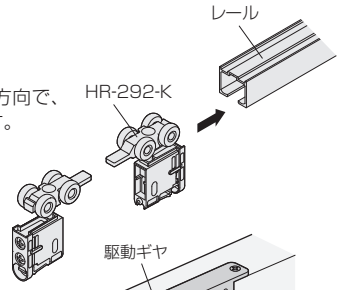
1.上部吊り車の取付け

①ホルダー部のレバーをつまんで、固定カップ部とホルダー部を分離します。
②固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。



2.レールの取付け

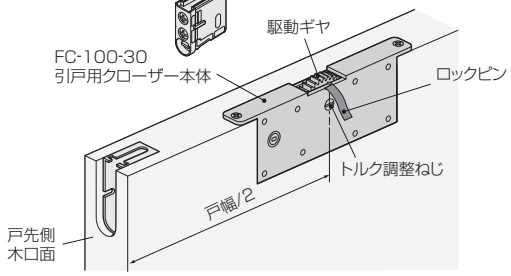
①レールを取付ける前に、図に示す方向で、上部吊り車をレール内に挿入します。
②上枠にレールを取付けてください。



3.引戸用クローザー本体の取付け

①戸の加工部に引戸用クローザー本体を取付けます。

> **ロックピンは絶対に抜かない**でください。もし、抜いてしまい駆動ギヤが空回りした場合は、本頁下段の（■駆動ギヤが空回りした場合）をご参照ください。



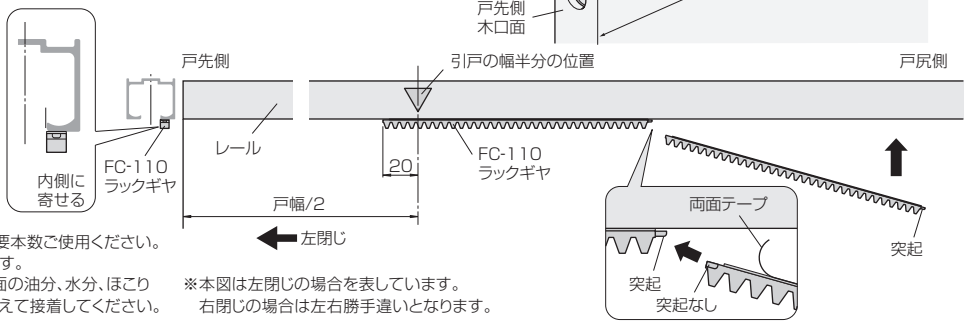
4.引戸下溝用ガイドレール・下部ガイドの取付け

①戸の下部に下溝用ガイドレールを取付けます。
②下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

5.ラックギヤの取付け

①レールの戸先側端部より引戸の幅半分の位置に印を付けます。
②印から戸先方向に20mm戻った位置から、ラックギヤの突起無しの面を先頭にして、レール下面の本体取付側に順次連結して貼付けていきます。

※ラックギヤは引戸のストロークに合わせて必要本数ご使用ください。
※ラックギヤはレールの内側に寄せて取付けます。
※ラックギヤをレール下面に貼付ける際、接着面の油分、水分、ほこりを除去し、十分な圧力（50N/cm²）以上を加えて接着してください。

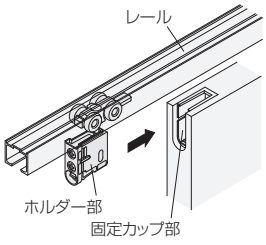


※本図は左閉じの場合を表しています。
右閉じの場合は左右勝手違いとなります。

■戸の吊込み

①下部ガイドに引戸下溝用ガイドレールを差込みます。
②引戸用クローザー本体の駆動ギヤをラックギヤに噛み合わせながら固定カップ部にホルダー部を差込みます。　※しっかりと差込み、抜けないことをご確認ください。
③引戸中央部分の「戸とレールのすきま寸法」が**9mm**になるように、戸先・戸尻の吊り車で高さ調整をしてください。

> **ロックピンは絶対に抜かない**でください。もし、抜いてしまい駆動ギヤが空回りした場合は、本頁下段の（■駆動ギヤが空回りした場合）をご参照ください。

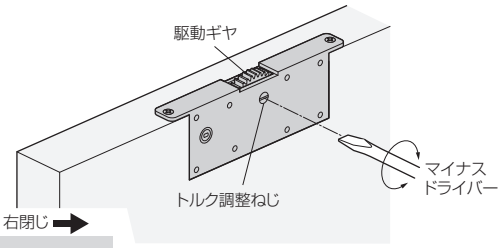


■自閉駆動力調整

①引戸用クローザー本体の駆動部のロックピンを引き抜きます。
※ロックピンは大切に保管してください。再び戸を外す時、駆動ギヤを固定するために必要になります。
②戸が自閉します。**このとき、絶対に手を触れないでください。**
※自閉する速度・距離は戸の質量によって変わります。
③扉を吊ったまま、以下の操作をします。

（閉まり切らない場合）➡引戸用クローザー本体のトルク調整ねじを**強方向**に適量回してください。
（勢いよく閉まり切ってしまう場合）➡引戸用クローザー本体のトルク調整ねじを**弱方向**に適量回してください。
※トルク調整ねじを過剰に**弱方向**に回さないでください。
内部のゼンマイ部分が破損するおそれがあります。

④戸厚27～32mmの場合、調整完了後にカバーを取付けてください。

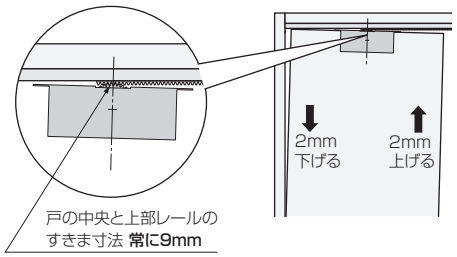


※戸を吊ったままで行ってください。

■戸の建付け調整

※ロックピンをはめ、駆動ギヤが回転しないようにしてから調整してください。

●戸を閉じたとき、縦枠と戸の間にすきまが空いてしまう場合、吊り車で上下調整をしてください。
戸の中央部の「戸と上部レールとのすきま」は**常に9mmになるように**してください。
一方の吊り車を調整したら、もう一方の吊り車は逆方向に同じ量だけ調整してください。



■戸の吊り込み終了後に戸を取り外す方法

1.**戸を吊ったままロックピンを差し込むことができる場合**……本体の駆動ギヤの側面穴に、ロックピンを差し込んでから戸を取外してください。
2.**戸を吊ったままロックピンを差し込むことができない場合**……内蔵ゼンマイの巻きが戻ってしまっていますので、巻き上げておく必要があります。駆動ギヤの側面穴にロックピンを差込み、トルク調整ねじを約8回転程度**強方向**に回しておいてください。

■駆動ギヤが空回りした場合

●内蔵ゼンマイの巻きが戻ってしまっていますので、巻き上げておく必要があります。
駆動ギヤの側面穴にロックピンを差込み、トルク調整ねじを約8回転程度**強方向**に回しておいてください。